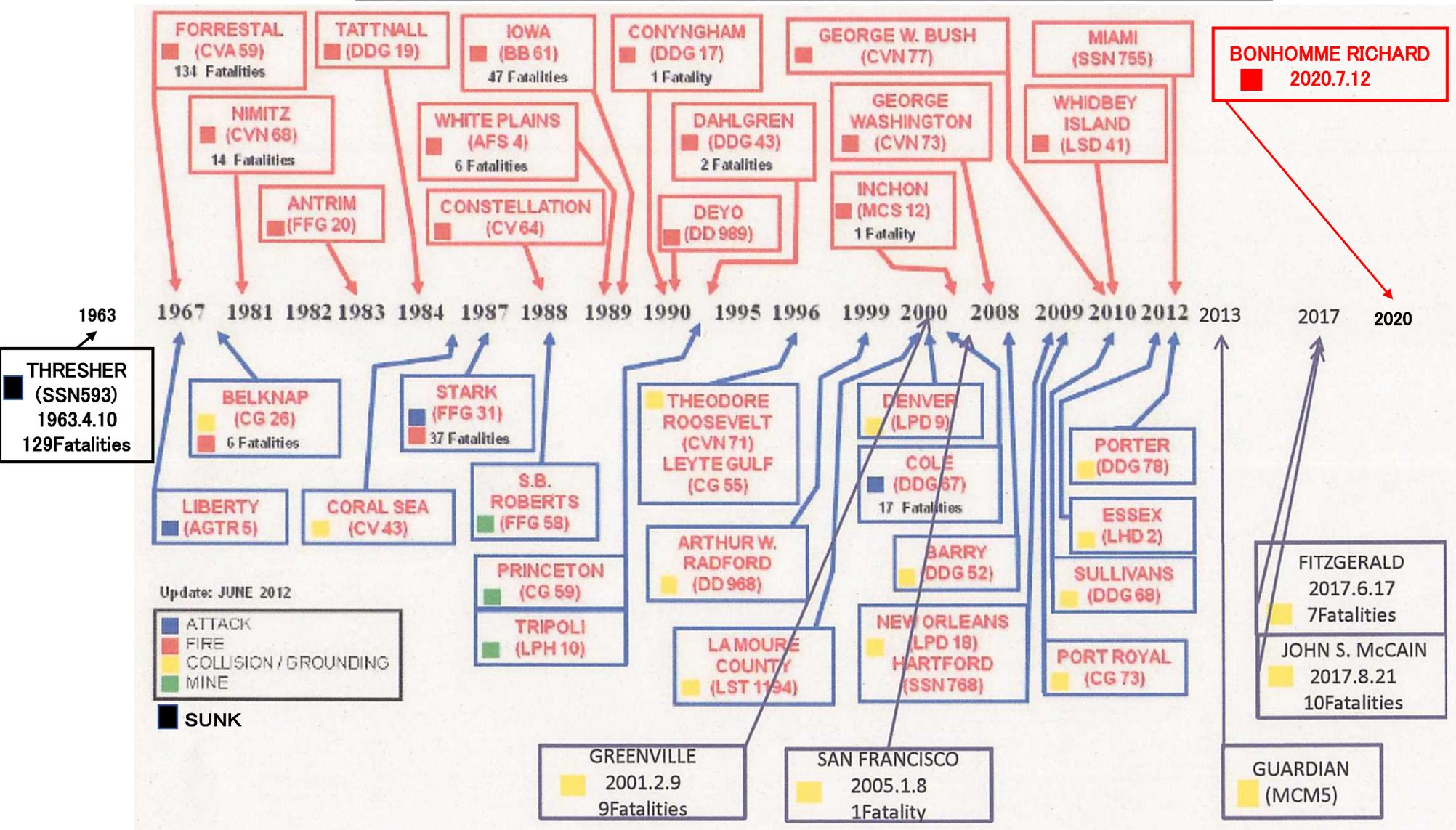


第2次世界大戦後の米艦艇事故年表



特筆事項

- 戦後最悪の米艦艇事故は1967年発生 of 空母FORRESTAL火災(134名死亡)、原因はF-4戦闘機に搭載していたロケット弾が電気回路のショートで不意発射、駐機していた僚機に命中爆発、他機にも誘爆し大火災となる。
- 1963年発生 of 原潜THRESHER沈没事故は定期検査後の試験運転時に発生したもの。
- 1987年発生 of STARKミサイル被弾は2発 of ミサイルがほぼ同じ場所に艦の左35度から飛来。その後の献身的な消火活動で沈没には至らず。
- 1989年発生 of IOWA火災は、射撃訓練中に砲中弾となった主砲装薬が爆発したもの。
- 1995年以降、座礁、衝突事故多発。電子海図表示装置導入、当直員減員時期と一致。
- 2013年発生 of 掃海艇GUARDIAN座礁事故は、フィリピンのリーフに船体が乗り上げ、波浪でリーフ内部まで船体が移動、引き出し不能となり船体を現場で解体。
- BONHOMME RICHARD 火災は定期検査中の事故であり、艦内消火装置は検査のため使用不能状態。2012年に発生した原潜MIAMI火災も定期検査で入きょ中に発生、MIAMIは修復費が高額となったため修理を断念し、翌年除籍。